

生態学琵琶湖賞 受賞記念講演

生態学琵琶湖賞は、水環境に関連する生態学およびその周辺分野における50歳未満の優れた研究者に贈られる賞です。滋賀県によって1991年に創設され、第15回より日本生態学会が実施しています。このたび鏡味麻衣子氏と徐军(XU Jun)氏が第22回受賞者となり、一般のみなさまにもわかりやすい内容で受賞記念講演を行います。皆様ぜひご参加ください。

講演 1



鏡味 麻衣子 氏

Maiko KAGAMI

横浜国立大学
大学院環境情報研究院
都市科学部 教授

琵琶湖から広がる泳ぐカビの世界 ：ツボカビの謎に迫る

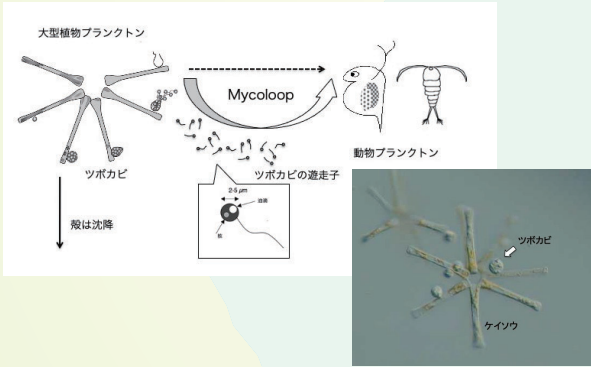


図 左：ツボカビを介した物質流マイコループ (Mycoloop)
右：植物プランクトン (ホシガタケイソウ) に寄生するツボカビ

講演 2

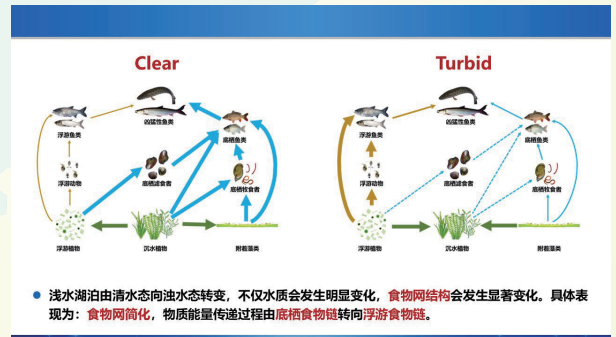


徐 军 氏

XU Jun

中国科学院水生生物研究所
淡水生態学研究センター
副センター長

Aquatic Ecology in a Changing World



● 浅水湖泊由清水态向浊水态转变, 不仅水质会发生明显变化, 食物网结构会发生显著变化。具体表现为: 食物网简化, 物质能量传递过程由底栖食物链转向浮游食物链。

図: 浅い湖が澄んだ水から濁った水に変わると、水質が大きく変化するだけでなく、食物網の構造も大きく変化する。これは、食物網の単純化や底生生物からプランクトンへの食物連鎖の変化に反映されている。

日程

2023年 7月 8日(土) 14:00~16:30

会場

滋賀県庁新館 7階大会議室

参加費

無料

Zoom ウェビナーにてライブ配信予定

* 詳細は生態学会ウェブサイト

<https://esj.ne.jp/esj/award/biwako/22lecture.html>にてお知らせします。



問合せ

日本生態学会事務局琵琶湖賞担当
メール biwakoprize@esj.ne.jp

主催

一般社団法人
日本生態学会



協力

滋賀県

Mother
Lake